

JP1/Performance Management導入により、作業工数86%削減。
(CO₂排出量 46%削減)

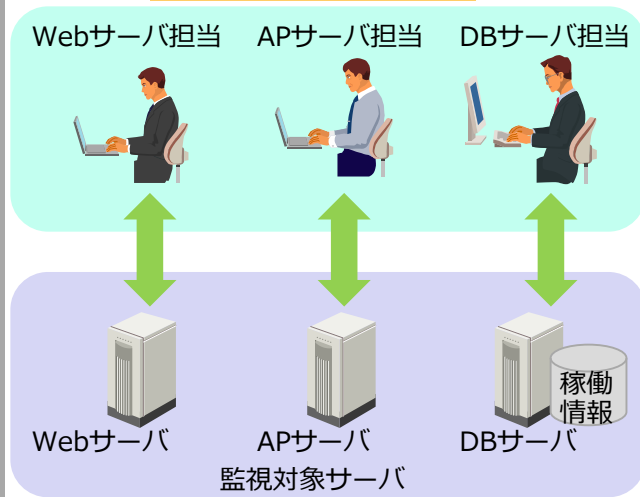
■お客様の課題

- ・各サーバで異なる管理ツールが導入されており、運用効率が悪い。
- ・管理ツールが異なるため、異常検知に時間がかかっている。

■機能単位：従業員1,000名が勤務している商社Aにおけるサーバ・データベースの稼働監視業務

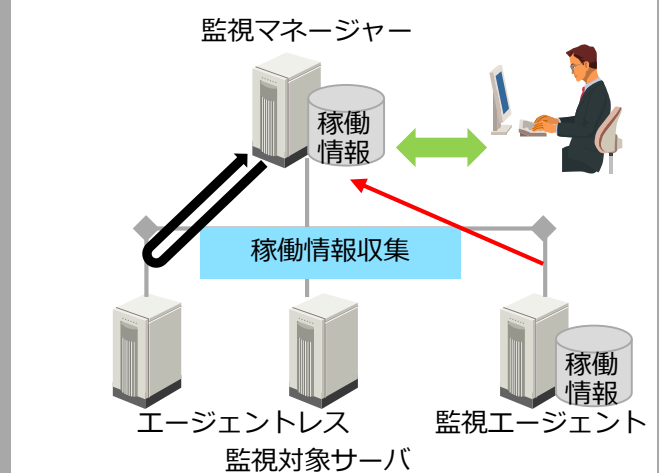
導入前

各サーバを個別に管理



導入後

各サーバを一元管理



■効果

- ・監視マネージャーに各サーバの稼働情報を集約し、運用の効率化を実現した。
- ・一元監視により、障害対応の工数を削減した。

導入前

作業工数

導入後

電力消費

データ伝送



CO₂排出量 (単位 ; kg-CO₂/年)

● 環境負荷低減要因

- ・運用の効率化による作業工数の削減 (86%削減)

● 環境負荷増加要因

- ・サーバ導入による電力消費の増加

CO₂排出量 : 2,036kg-CO₂/年削減 CO₂削減率 : 46%

・環境負荷要因は評価条件や評価モデルにより値が異なります。

・本評価は、(株)日立製作所のCO₂算定手法であるSI-LCA^(*1)を使用し、2015年9月時点の情報で使用ステージを評価対象として算定しています。

(*1) SI-LCA : System Integration-Life Cycle Assessment

SI-LCAは「平成17年度情報通信技術(ICT)の環境効率評価ガイドライン (日本環境効率フォーラム平成18年3月発行) に準拠した手法です。